

## 千葉県における大気汚染の状況について

## 1 平成 21 年度大気汚染物質の測定結果

## (1) 測定内容

## ア 大気常時監視測定局数

平成 21 年度の千葉県内の測定局数は、一般環境大気測定局（一般局）114 局、自動車排出ガス測定局（自排局）29 局の計 143 局です。

## イ 項目別測定局数

区分	二酸化硫黄	二酸化窒素	一酸化炭素	光化学オキシダント	浮遊粒子状物質
一般局	86	114	4	93	112
自排局	4	29	25	-	28

## ウ 測定期間

平成 21 年 4 月 1 日から 22 年 3 月 31 日まで

## エ 実施機関

県、6 政令市（千葉市、船橋市、市川市、松戸市、柏市、市原市）、11 市（木更津市、香取市、成田市、佐倉市、習志野市、流山市、八千代市、君津市、富津市、浦安市、袖ヶ浦市）及び国

## (2) 測定結果

測定項目ごとの状況は次のとおりです。

環境基準達成状況を表 1-1 に、年平均値の推移を表 1-2 に示しました。

ア 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>)

環境基準達成率は、昭和 54 年度以来 100% を維持しており、年平均値は、一般局は低下傾向にあります。自排局はやや低下傾向となっています。

イ 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>)

環境基準達成率は、一般局は 100% を維持しており、自排局は 96.6%（未達成 1 局：松戸上本郷）となっています。前年に比べ、千葉千葉港局、船橋日の出局が環境基準を達成しました。

なお、県が独自に設定した環境目標値の達成率は、一般局は 90.4%、自排局は 37.9% となっています。

年平均値は、一般局、自排局ともに低下傾向にあります。

## ウ 一酸化炭素 (CO)

環境基準達成率は、昭和 48 年度に測定を開始して以来、100% を維持しており、年平均値は、一般局は横ばいですが、自排局は低下傾向にあります。

## エ 光化学オキシダント (Ox)

環境基準は、依然として全局で未達成で、年平均値は、おおむね横ばいの状況にあります。

## オ 浮遊粒子状物質 (SPM)

環境基準達成率は、一般局、自排局とも 100% と、3 年連続、全局で達成しました。

年平均値は、一般局、自排局とも低下傾向にあります。

表1-1 環境基準達成状況

区分	環境基準等	項目	達成率 (%)								平成21年度 **達成局数比
			14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
一般環境 大気測定局	環境基準	二酸化硫黄	100	100	100	100	100	100	100	100	86/86
		二酸化窒素	100	100	100	100	100	100	100	100	114/114
		一酸化炭素	100	100	100	100	100	100	100	100	4/4
		光化学オキシダント	0	0	0	0	0	0	0	0	0/93
		浮遊粒子状物質	52.1	90.5	99.1	100	93.9	100	100	100	112/112
	県環境目標値	二酸化窒素	60.3	76.7	71.6	72.2	79.1	71.9	94.6	90.4	103/114
	* 時間達成率	光化学オキシダント	92.5	93.1	90.0	91.9	95.8	94.6	94.9	95.7	—
自動車 排出 ガス 測定局	環境基準	二酸化硫黄	100	100	100	100	100	100	100	100	4/4
		二酸化窒素	89.7	93.1	96.6	93.1	93.1	93.1	89.7	96.6	28/29
		一酸化炭素	100	100	100	100	100	100	100	100	25/25
		浮遊粒子状物質	26.9	74.1	100	96.4	96.4	100	100	100	28/28
	県環境目標値	二酸化窒素	13.8	27.6	24.1	31.0	31.0	31.0	41.4	37.9	11/29

(注) 光化学オキシダントについては3,750時間以上、その他の項目については6,000時間以上の測定局について評価

\* 時間達成率 = (昼間の環境基準達成時間 / 昼間の測定時間) × 100      \*\* 達成局数比 : 達成局数 / 測定局数

表1-2 年平均値の推移

区分	項目	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
一般環境 大気測定局	二酸化硫黄 (ppm)	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003	0.003	0.002	0.002
	二酸化窒素 (ppm)	0.016	0.016	0.016	0.016	0.015	0.015	0.013	0.013
	一酸化炭素 (ppm)	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3
	光化学オキシダント (ppm)	0.030	0.031	0.033	0.032	0.029	0.029	0.029	0.029
	浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )	0.032	0.029	0.028	0.029	0.028	0.026	0.024	0.022
自動車 排出 ガス 測定局	二酸化硫黄 (ppm)	0.005	0.005	0.005	0.005	0.003	0.004	0.004	0.003
	二酸化窒素 (ppm)	0.028	0.027	0.027	0.027	0.026	0.025	0.024	0.023
	一酸化炭素 (ppm)	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4
	浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> )	0.038	0.036	0.034	0.033	0.032	0.030	0.028	0.026

(参考) 環境基準等

ア 環境基準

項目	環境基準	長期的評価
二酸化硫黄	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下	1日平均値の2%除外値が0.040ppm以下で、かつ1日平均値が0.040ppmを超えた日が2日以上連続しない
二酸化窒素	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下	1日平均値の年間98%値が0.060ppm以下
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下	1日平均値の2%除外値が10.0ppm以下で、かつ1日平均値が10.0ppmを超えた日が2日以上連続しない
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下	1日平均値の2%除外値が0.100mg/m <sup>3</sup> 以下で、かつ1日平均値が0.100mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続しない
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下	—

イ 千葉県環境目標値 (二酸化窒素)

項目	環境目標値
二酸化窒素	日平均値の年間98%値が0.04ppm以下

## 2 大気汚染物質の経年変化



